

平成27年度 指定管理者モニタリング評価表

1. 施設の概要等

施設の概要	施設名称	YONETSU-KANささおか		担当課	清掃センター			
	所在地	あわら市笹岡第32字88番地2		開設年月日	平成8年9月			
	施設設置目的	圏域住民の福祉増進に寄与するとともに、健康と体力づくりの増進を図るため設置。						
	施設内容	敷地面積 12,000㎡ 延床面積 2,600㎡ 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建 【プール】流水プール・25m×3コース直線プール・幼児用プール・ウオータースライダー・ジャグジー 【風呂】一般風呂・薬風呂・水風呂・露天風呂・サウナ 休憩室・レストラン・談話室・ホール・屋外に多目的芝生広場・駐車場						
	指定管理者	イワシタ物産株式会社		選定方法	公募(応募者数3)・非公募			
	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間) (1年目)						
	指定管理者の主な業務	YONETSU-KANささおかの管理運営に関する基本協定書、管理運営業務仕様書等に定めた業務 ①管理運営に関する業務 (利用の案内・受付、利用料徴収、プール監視、設備機器運転及び監視保守、広報、多目的芝生広場管理、自主事業の実施等) ②維持管理業務 (保安警備、清掃、各設備保守管理業務等)						
	利用料金制の導入	有・無		指定管理料		有・無		
	施設の利用状況等	指標(単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標日(%)	対前年日(%)	備考
		入館者数(人)	118,000	110,724	112,251	93.83%	98.64%	
利用料収入(円)		37,880,000	35,731,170	35,011,036	94.33%	102.06%		
自主事業収入(円)		20,605,000	24,707,184	15,618,456	119.91%	158.19%		
【特記事項】		前年度実績については、平成26年度においてプール天井等の改修工事により臨時休館があったため、平成25年度実績を用いた						

収支	指定管理者収支(平成27年度)			
	項目	予算額	決算額	
	収入	指定管理料	35,000,000	35,000,000
		入館料	37,760,000	35,677,670
		利用料	120,000	53,500
		自主事業収入	20,605,000	24,707,184
		計	93,485,000	95,438,354
	支出	人件費	35,500,000	37,419,004
		消耗品費	4,600,000	7,623,956
		光熱水費	20,500,000	21,247,162
		修繕料	1,100,000	3,414,096
		宣伝費	2,000,000	1,242,897
		通信料	200,000	163,330
		保険料	250,000	295,580
		委託料	9,605,000	6,075,790
		原材料費	9,450,000	12,509,016
		その他	7,628,000	9,217,946
	計	90,833,000	99,208,777	
	損益	2,652,000	△ 3,770,423	

2. 指定管理者及び組合による評価……別紙のとおり

3. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	平成28年1月9日(土)～1月31日(日)	
	調査対象	入館者	
	調査方法	受付で入館者に依頼し、フロントで回収する。	
調査結果	調査対象数	73人 (男性34人、女性39人)	
	【利用者の満足度】	①大変満足 19% ②やや満足 53% ③ふつう 21% ④やや不満 4% ⑤不満 3%	
利用者からの意見・要望等	○開館時間を早くしてほしい	○休館が多い	
	○食べ物の持ち込みが出来ず残念	○使用中のロッカーが近すぎる	
	○炭酸泉のお風呂がほしい	○ロッカーのドアが使いづらい	
	○水風呂が冷たすぎる	○お風呂が最高	

4. 指定管理者による自己評価

平成27年度の自己評価	H25年度(※H26年度は休館期間が長い対象外)と比較すると営業日99.4%(-2日)、入館者数98.6%(-1,527人)、収入119%(+9,809,000円)となり、自主事業部門では、大きく上回ることができました。次年度は、入館者数の増加に注力し、確実に昨年及び目標達成となるよう努めます。 維持管理については、適切な業者選定の下、専門業者に委託し適切に管理しております。管理運営面においては、初年度は特に従業員の接遇を高めること、施設の清潔化に力を入れ、指導・業務見直しを繰り返してきました。それについては、一定のレベルアップに繋がったと思います。5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を具体化し、更なる管理運営レベルの向上を目指します。
今後の目標	・入館者数の獲得→閑散期対策、近隣施設への営業、効果的なイベント実施 ・新入社員の教育、資格取得、定期的な業務指導及び研修 ・本部業務指導、評価チェック

5. 組合の評価

指定管理の成果等	施設の管理運営は、概ね適正に行われている。
今後の課題	適切な管理運営を行う人員(有資格者を含む。)を配置し、サービス向上に努めること。

6. 第三者総合評価

利用者の目線に立ち、高齢者やお子様向けのサービスに力を入れている事は評価できる。レストランのメニュー等の充実はいいが、繁忙期の対応に関しては、メニューの絞り込み及び手順、効率性を考えながら実施することが望ましい。
適正な管理運営を行う人員(有資格者を含む。)を配置し、更なるサービス向上に努めること。

判断の基準		第三者評価	組合評価	指定管理者自己評価
90点以上	S 極めて良好			
80点以上90点未満	A 良好	78	B	B
70点以上80点未満	B 標準			
60点以上70点未満	C 要改善			
60点未満	D 早急な改善が必要			